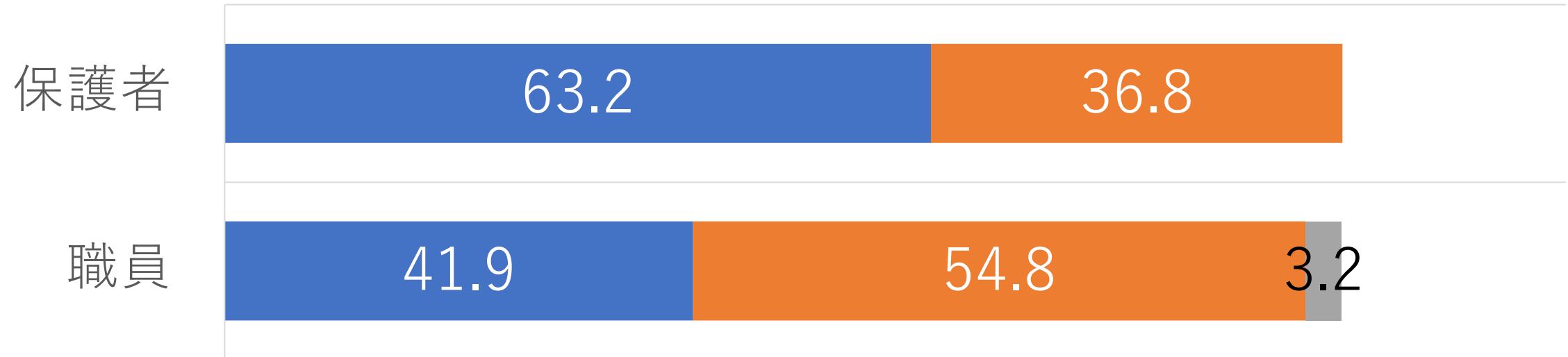


学校教育アンケートまとめ

長野盲学校

1 学校へ行くのが楽しみ。 学校が楽しみになるような活動(授業)の提供。

■ Aそう思う ■ Bだいたいそう思う ■ Cあまりそう思わない ■ Dそう思わない



【考察と方向】

- ・保護者と比べると職員の評価は低めである。それぞれが一層の授業改善に取り組みたい。チームで行う授業は、まとまった打ち合わせ時間の確保が難しいこともあるが、短時間の打ち合わせを日々積み重ねるなど、時間の使い方も工夫していきたい。

2 一人ひとりの人権の尊重と安心できる学校づくり

■ A そう思う ■ B だいたいそう思う ■ C あまりそう思わない ■ D そう思わない

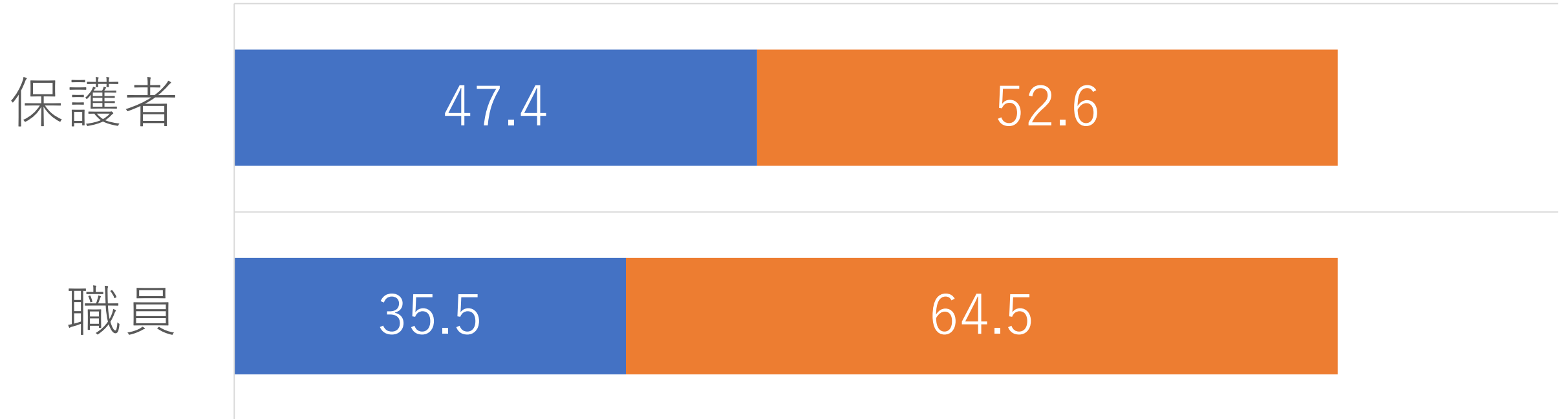


【考察と方向】

- ・ 保護者、教職員ともおおむねよい評価を得ているが、問題が起きたときの対応の改善を求める声もある。一人ひとりと向き合い、話し合いを重ねて安心して過ごせる学校づくりに努めたい。
- ・ 本人・保護者の抱えている不安に寄り添い、視覚障がいへの配慮は特に大切にしたい。

3 安心安全な環境

■ A そう思う ■ B だいたいそう思う ■ C あまりそう思わない ■ D そう思わない



【考察と方向】

- ・ 保護者・職員ともおおむねよい評価だが、年度当初に行っている長盲ルールを年度途中にも再確認するなど意識の継続に努めている。緊急時の対応訓練（不審者・救急車要請等）も繰り返し行っていきたい。

4 幼児児童生徒、保護者の願いに沿った個別の指導計画の作成と専門性を活かした適切な支援、教育活動。

■ Aそう思う ■ Bだいたいそう思う ■ Cあまりそう思わない ■ Dそう思わない

保護者



職員

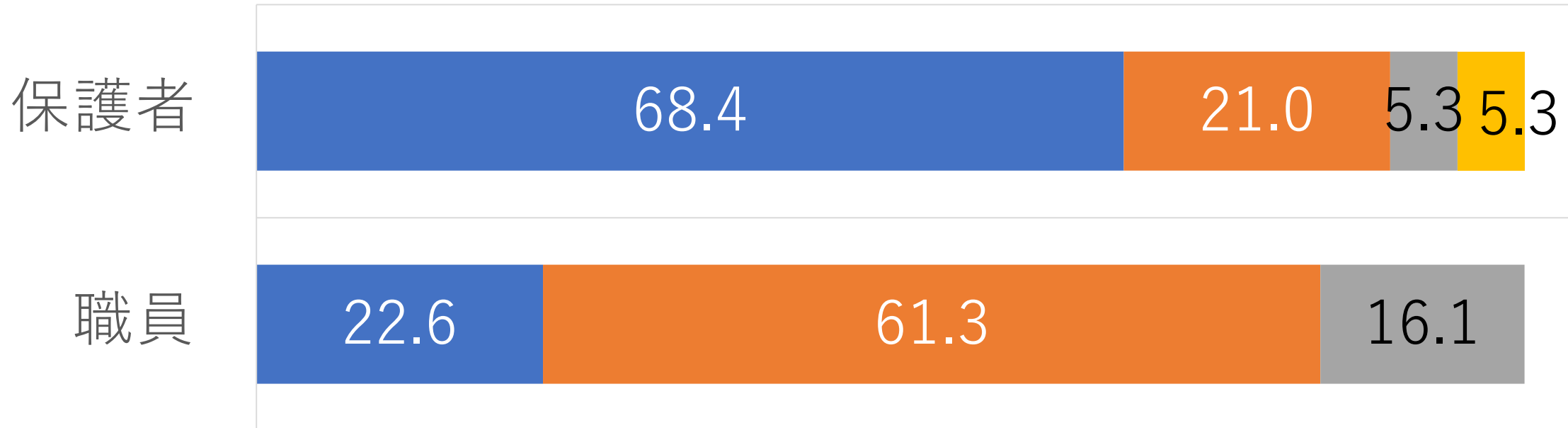


【考察と方向】

- ・ 保護者にはC評価があり、職員のB評価も多い。児生にとって適切なねらい・活動・支援であるか関係者で情報共有をし、作成だけでなく日々の見返しを重視したい。

5 職員の連携、チームでの指導・支援

■ A そう思う ■ B だいたいそう思う ■ C あまりそう思わない ■ D そう思わない

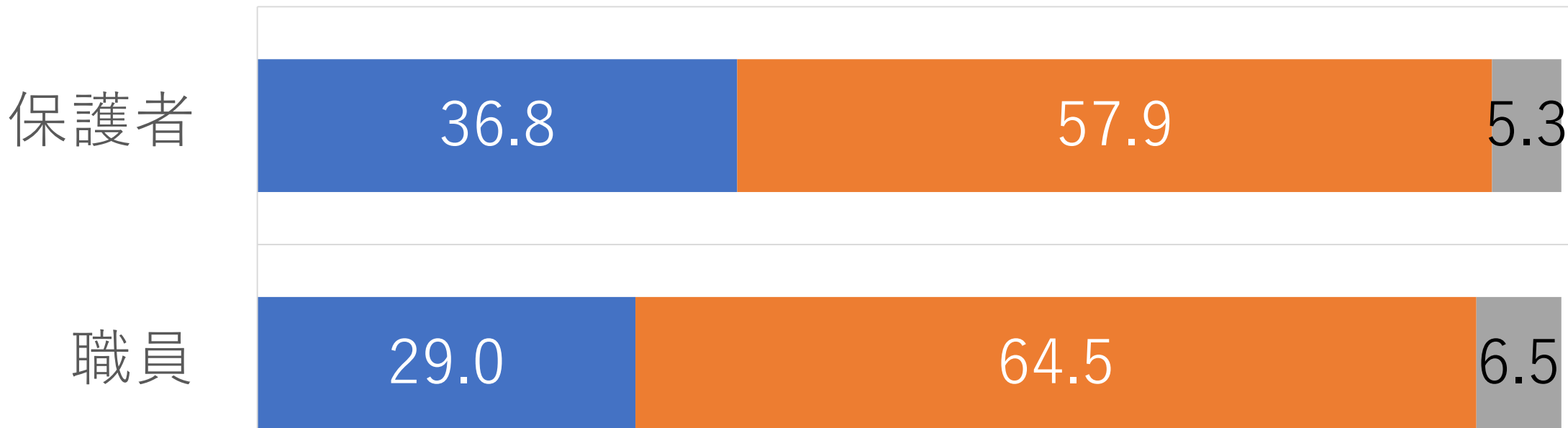


【考察と方向】

- ・保護者にCD評価があり、職員もA評価が少ない必要な連絡事項は、連絡帳等も活用して関係者に迅速に伝わるようにしたい。
- ・家庭・学校・寄宿舍それぞれの立場での役割を確認する機会（懇談・支援会議）はもちろん、日々の連絡帳で指導・支援の様子を共有したい。

6 交流及び共同学習や現場実習等、社会参加につながる教育活動の実施

■ Aそう思う ■ Bだいたいそう思う ■ Cあまりそう思わない ■ Dそう思わない

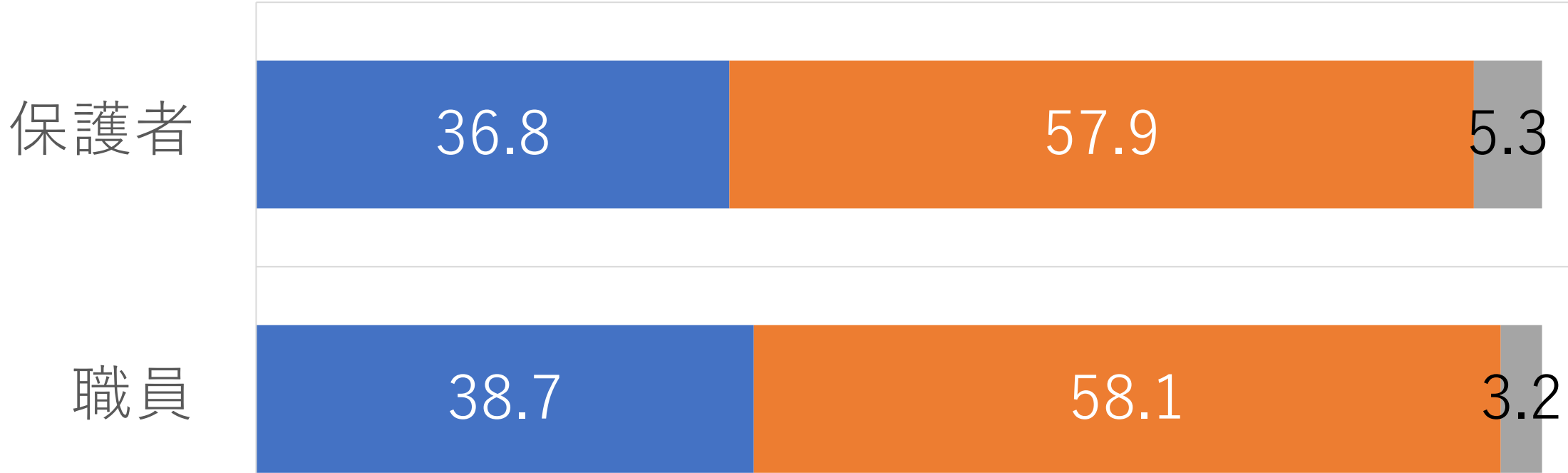


【考察と方向】

- ・ 交流の機会は少しずつ増え、盲学校間の交流も新たに加わったがC評価もある。高校生の交流・社会参加につながる活動も考えていきたい。
- ・ 居住地での交流は、打ち合わせの中で交流の目的を共有し、個に合わせた交流を見通しをもってすすめる必要がある。

7 医療や福祉との連携や支援会議などを通じた関係機関との連携

■ Aそう思う ■ Bだいたいそう思う ■ Cあまりそう思わない ■ Dそう思わない



【考察と方向】

- ・保護者・職員ともにC評価がある。支援会議は、現在の情報共有だけでなく、盲学校卒業後までの長期的な見通しをもった支援の方向を検討する機会としたい。
- ・つながりの少ない医療機関もあり、その連携も課題である。